

(以下バイノーラル)

んじゅるう……ちゅう、ちゅつ……ちゅぶつ、れろおおお……つ。

ん?んつちゅうつ……ちゅばつ、めええ……目を覚ましたか、マスター?

全く、呼び付けるなり気絶するなんて、人間というのは随分良い御身分ですね?

ちゅう……れる、じゅる……ちゅううつ!

ん、ちゅばつ……何を、しているかですか?

じゅるつ……『覧の通り、マスターの男性器(だんせいき)をしゃぶらせて頂いてるんですけど?

むうつ、ちゅううつ♪

れちゅう……れろおー、ちゅつちゅつ……んんう♪

ちゅばつ!

はあ……何故だ、どうしてと五月蠅い(うるさい)人間ですね、マスター?

足りない力の分は協力して貰うとお伝えしていたと思うんですけど?

ええ、こんな不自由な体では万に一つとはいえたあの奉仕種族に遅れを取りかねませんから……

うして、んつ……れろお♪

ぐちゅぶ……ちゅうつ!……んんうつ♪

マスターの精気を、足りない分の穴埋めにさせて頂こうとしているんです♪

はあー……んつ、じゅるうううううつ♪

れろれろ、ちゅう……じゅるる、れろおつ♪

ちゅばつ……んふ、大きくなつてきます。

これなら、それなりにたつぶり精気が取れそうですね……めえええ♪

ん?……むう、こんなにココは硬くしてるので、まだあのショゴスとか言うのに襲われるのを怖がつて

いるんですか?

『しゅり……』

(イチモツから口を放し、マスターに近づく音)

マスター……安心して下さい。

アレは、私の一撃を受けて随分警戒していました……それにこは、お母様の力の強い場です。つまり、私の力が振るい易い場所です。

知能の低いあんな奴でも、ここに押し入つて襲つてくるような真似はしないですよ。仮に押し入つても……マスターがしつかり精気をこの男性器から吐き出して、私に食べさせてくれてれば……しつかりと返り討ちにしてみせますから。

ですから……安心して、いっぱい……びゅーびゅーとマスターの白いドロドロの精気を吐き出して下さい♪

本当は、マスターを頭から食べてしまつて魔力にしてもいいのですけれど……。

あのショゴスとかいうのより、私が優秀なのだとちゃんと見ていて貰わないといけないですからね!なので、マスターの精気で我慢してあげるんですから……ちゃんと出してくれないと、マスターの体……食べちやいますよ?……ふふ♪

では、そういうですから。

しつかり気持ちよくなつて、私の口が溢れるぐらい……たつぶり、べつとり、マスターのねつとりミル

クを注いで下さいね？

多ければ多い程、私の力になりますから……くす・

んつ……あ、むう……ちゅう、れちゅう……ずずつ、ちゅう……んじゅるう、じゅ……じゅ、れ
ろおおつ・

ちゅぶつ、ふはつ……ふふ、安心されたからですか？

それとも、食べられたくないからですかね？

マスターの男性器、さつきより……舌で触れるとびくりと反応が良くなつたです・くす……くす
くす・

ん、れ、ろおおお……ちゅうううつ・

それで、いいんですよ？

ん、ちゅう……マスターは、たつぶりたつぶり……私に注がなきやダメなんですから……ちゅつ、あ
はつ・

恨むなら、んつ……じゅる、れろれろ……ちゅうつ・
こんな、人のような体で私を呼んだ事を恨んで下さ・……あーむつ、じゅるつ、れろ、ちゅう……
じゅるるるうう、れろ、ちゅうううつ・

じゅる……ん、ふ・

にちやあつて液、出てきました……マスターの、ミルクの上澄みですね……んつ、ちゅうう……じゅ
るつ・
ぺろつ……先走つたものでも、体に染み込むような感覚があります・
この味なら、んつ……あむうつ、ちゅつ……じゅるう、ちゅばつ、れろおお一つ・

……マスターのねつとりミルク、美味しく頂けそうです、あはつ・
あむつ、ちゅう、れろおおお……下から掬いあげるみたいに舐められるのがお好みですか？

ふふ、構いませんよ……マスターの、この子種を作る所も。

はあー……むつ、もばー……れろ、ちゅば……れろ、ちゅう……もばー、じゅる、じゅるる……れろお

マスターの……ミルクを上らせるこの幹も。

んれろおー……ちゅつ、ちゅつ、ちゅううう……んつ、れろ、じゅるう、れろおおおつ・

はあー……・

そして、マスターの……雌の秘部に狙いを定めるための……この膨らんだ先も・
はむつ……じゅるるるう、れちゅう、じゅるう、ちゅう……じゅずずつ、ちゅうう、ちゅうううううう、
じゅばつ・

ふうう……あつは・口から、マスターの男性器まで糸引きました……ふふふ・
ぜーんぶ、たつぶり舐めて上げますから……・

んつ、じゅるうーーーー、ちゅう、れろおおーーー、ずずつ、ちゅう……ずず、ちゅううう、ぴちゃつ・
ふう、んんうつ・じゅるう、ちゅう……ずずつ、ちゅううううううつ・
……あつ、マスターのドクドクしてるです・

舌先が、マスターの幹の裏がそうなつてるの……れろおつ、しつかり教えてくれます……あはつ・
私の舌、さらさらも、つるつるも……具合よく変えられますから。

それも気持ちよさに繋がつてゐんですかね？ふふ……ねえ、どうなんですか？ますたあー・

《射精音》

(射精音)

ん?、ん?!! ～んんう……ん?……!!
んー……わよつ……じよる、じよるよよよ……くわよ、わよつ……すよ!!
ちようわー……わよよん!!

「ふう、めへええ」
まふはー(マスター) わひります?

「ぐ、まふはーのだしてくれたみるく……口に、ほんまに

んあ……くちゅ、くちゅ、舌にも、くちの中には、……「ハシラ、からそくあくよひ……あは」
んつ……」、いまよりよほの……精氣でふ……くちゅぐちゅくちゅぐちゅ……んつ一「」くんつ
……

つ……はあー……んうつゝ
飲んじやいました、マスターのビクビク、ドロドロ……ねつとり精氣ミルク
べろい……お母様のミルクには負けますけど、中々美味しい……ミルクでしたよ、ますたあーゝ

くす……人間はこういうとき御馳走様でした、と言うんですよ、確か？

もっと、私精気欲しいんです……」
これでも十分アレには負けないと 思いますけど、念には念をという言葉が……人間にはありますもんね?

《上諭...》卷之六

……マスター？ 口は、満足しましたから……次は、私の口を。
雌としての場所に、マスターの精気を注いで下さい。」
マスターが助かるためでもあるんですから、嫌だなんて……言わないで下さいよ？
くす……ふふ、めええええ！」